

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

肺静脈隔離術後に再発した心房細動に対する QDOT MICRO カテーテルを用いた上大静脈隔離術の治療効果に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年1月1日から2024年12月31日に昭和大学江東豊洲病院循環器内科で2回目のカテーテルアブレーションを受けた患者さん

2. 研究目的・方法

心房細動の発症要因として上大静脈中の電気刺激が考えられており、経皮的心筋焼灼術を行ううえで上大静脈を電氣的に隔離することが、心房細動の治療として挙げられております。

2022年以降より日本でも使用されるようになった新しいカテーテルである QDOT MICRO (Biosense Webster 製) は、有効性と安全性の点で、従来のカテーテル Thermocool SmartTouch Surround Flow (Biosense Webster 製) より優れており、上大静脈の電氣的隔離術においても QDOT MICRO カテーテルを用いることで、よりよい治療効果が期待されています。

このたび、さらなる治療法の確立や治療効果の解明のため、皆様の臨床情報等を「肺静脈隔離術後に再発した心房細動に対する QDOT MICRO カテーテルを用いた上大静脈隔離術の治療効果に関する研究」で活用させていただくこととなりました。

本研究は、心房細動再発例に対して上大静脈隔離術を受けた患者さんの経過や診療内容などのデータを中心に収集し、持続的・長期的に評価項目の検討を行い、従来の Thermocool SmartTouch Surround Flow カテーテルに対する QDOT MICRO カテーテルの安全性と有効性を明らかにすることを目的としています。本研究により、心房細動のカテーテルアブレーションにおける治療戦略の選択肢に幅が広がり、より有用な治療を受けることが可能になると考えられます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では診療録から下記の情報を収集します。

- ・研究対象者背景：年齢（生年月日）、性別、身長、体重

- ・原疾患：診断名、重症度
- ・原疾患の治療歴：初回の経皮的肺静脈隔離術の施行日、治療内容
- ・合併症：有・無、疾患名
- ・既往歴：有・無、疾患名
- ・左室駆出率、左房容積係数
- ・上大静脈隔離術に要した手技時間
- ・上大静脈隔離術に要した総通電ポイント数
- ・上大静脈隔離術に要した追加通電ポイント数

以下情報については上大静脈隔離術を受けてから 1 年間追跡します。

- ・洞調律維持期間
- ・不整脈再発の場合、疾患名

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 相澤 直樹

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：相澤 直樹

住所：東京都江東区豊洲 5 丁目 1 - 3 8 電話番号：03-6204-6000 (内線：6832)